

事業実績（研修）報告

1. 研修の概要

- (1) 目的 第79回全国都市問題会議
- (2) 日時 平成29年11月9日(木) 9時30分～17時
11月10日(金) 9時30分～11時50分
- (3) 場所 沖縄県那覇市 沖縄県立武道館
- (4) 参加者 大塚久美子議員 1名



(沖縄県立武道館前)

2. 研修内容

(1日目)

基調講演

多様性のある江戸時代の都市 東京大学史料編纂所教授 山本博文

主報告

人つなぐまちー新しい風をつかむまちづくりー 沖縄県那覇市長 城間幹子

一般報告

- ・人口減少社会の実像と都市自治体の役割
ー人口とインフラの適正な持続的配置はいかに可能か？ー
首都東京大学院尋問科学研究科准教授 山下祐介

一般報告

- ・自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり
北海道釧路市長 蝦名大也

一般報告

- ・新たなステージに入った沖縄観光
ー複合的な魅力を有するハブリッドリゾートへー
琉球大学観光産業科学部長・教授 下地芳郎

(2日目)

パネルディスカッション

【テーマ】

ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略

－新しい風をつかむまちづくり－

【コーディネーター】 早稲田大学理工学術院教授 後藤春彦

【パネリスト】 株式会社能作代表取締役社長 能作克治

まちひと感動のデザイン研究所代表 藤田とし子

沖縄文化芸術振興アドバイザー 平田大一

福井県勝山市長 山岸正裕

静岡県島田市長 染谷絹代

3. 所感

何が都市を魅力的にするのかという観点から、多方面に渡る有識者の講演、報告、パネルディスカッション等、本市においても大変に参考になる研修であった。

結論から言えば、ひとの絆が都市を魅力的にしていると言えるのではないだろうか。

社会・経済状況の変化に伴い、地域の支えあいが重要視されるようになった。さらに、東日本大震災や熊本地震など、大規模な災害が頻発する中で、ひとつながりること、絆の尊さが浮き彫りになっている。本市においても、市長は、絆を大切にすることを強く主張しているように、今後ますます、まちづくりのために、どんな絆を深めていくかが重要になると考える。それは、自治体の首長の発想力はもちろんのこと、首長の政策立案・実施を支える自治体職員のあり方が問われることになる。行政監視機能や政策形成機能を担う議会に対する期待も大きいといえる。

地域の創生において、政策の「正解」は存在しない。西尾市の特性を踏まえ、いかなる特性が求められているのかを絶えず議論し、また実施している政策が効果を挙げているのかを検証していく必要があると考える。

収支報告

項目	支出金額	備考
研修費	63,700 円	参加費 10,000 円 旅費 53,700 円
計	63,700 円	